

# 富士ク 打撃戦制した

## 救世主だ後尾5の4だ

都市対抗野球  
静岡地区1次予選  
(14日 新富士)

▽2回戦	富士クラブ	12002230020	210140000	912
アマウェイレッドソックス	(富)佐野竜一 望月秀 (ア)依田、鈴木、森田 (固森田) (ア)▽二塁打1大原、田口、古川(豊森田) (ア)			

1回戦1試合と2回戦2試合が行われた。連戦となった富士クラブは強豪のアムウェイレッドソックスを打撃戦の末に制し、2次予選出場へ大きく前進した。3時間6分の熱闘。東海クラブ選手権のリベンジ

へ、ベンチ入り10選手が全力を注いだ。先発の佐野竜一は「意識が強かったみたいだね」と子上(ねがみ)克己監督(51)が言うように力みで制球が乱れ、序盤から得点を許した。しかし、好調打線がエースを助けた。中でも新加入の後尾(このお)が四回の同点打など5の4、4打点の大暴れ。日大一高、明大で活躍した後尾も、実は硬式を握るのは5年ぶり。希望していたノンプロの道はバブル崩壊により閉ざされ「ずっと野球がしたかった」という。これから仕事に行かなくては」と言いながら満面に笑



<アムウェイ・富士ク>九回裏1死、アムウェイ・明比の打球に素早く反応、投ゴロに打ち取った富士クのエース・佐野竜一

▼アムウェイレッドソックス・一場良隆監督(33)メンバーがガリリと変わり、苦戦は予想していた。日曜には羽山、大曾根、伊丹が出てこられたのだが……。

▽2回戦	静岡硬式野球倶楽部	431020	000000	010
ゲッツベースボールクラブ	(静)石川、松浦、田造 (ゲ)加藤、望月俊、内藤、渋谷			

▽三塁打1長島(静)▽二塁打	田造2、三浦、小長谷和(静)			
▽1回戦	浜松ウナボンズ	20010	20314X	193
フジワノ野球クラブ	(5回コールド)			

(浜)森田、柳川  
(フ)小林、小泉、山本  
(固北澄、木下(フ)▽三塁打1山本、前林、土屋、小林2(フ)▽二塁打1遠藤、土屋(フ)井田(浜)

### 悔し86分で終戦

△ゲッツベースボールクラブ初陣は86分で終戦……。平日にかかわらず18人がベンチ入り。元気にグラウンドを駆け回ったが「相手の上だった」と加藤力監督(37)。静岡硬式野球倶楽部の猛攻に五回まで10点を許し、ヒットも内藤の1本だけ。きょうは参加できなかったけど社会人出身の選手もいるし、また頑張ります」と監督は出直しを誓った。

### 怒とう17人攻撃

△フジワノ野球クラブ何と1イニング17人攻撃。四回に10安打6四球を集め14点を奪った。今大会から選手兼監督となった井藤聡(30)は「ウチは点を取る野球しかない。それにしても14点は記憶がない」と驚いていた。